

市長へ予算要望及び政策提案・提言を提出しました

さいたま市は令和５年４月、政令指定都市移行・区制施行２０周年を迎えました。未来に向かって輝くさいたま市を実現するため、令和５年９月さいたま市長へ令和６年度の予算編成に対し８分野・９９項目の要望、政策提案・提言をしました。令和６年１月には、当会派からの予算編成要望・政策提案・提言への回答を受けました。（要望書は会派ホームページに掲載）

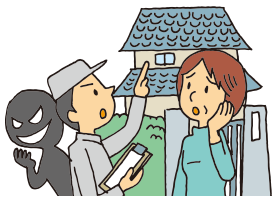
少子高齢化社会の進行や技術改革の進展、市民ニーズの多様化など、さいたま市を取り巻く社会経済は変化を続けています。限られた資源の中で事業の優先度や緊急性を重視し、時代の変化に対応した高品質の都市経営が行えるよう、市民みなさまのご意見を拝聴し、今後も取り組んでまいります。自由民主党さいたま市議会議員団に対し変わらぬご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。



さいたま市長より要望書回答の受取り

訪問販売による屋根工事や 塗装工事などの契約トラブルに ご注意ください！

市民の方より、訪問販売による屋根工事や塗装工事などの契約トラブルの相談が寄せられています。市内在住の方は、少しでも疑問や不安を感じたら、消費生活センターに相談ができます。詳しい相談事例等は市ホームページよりご覧いただけます。

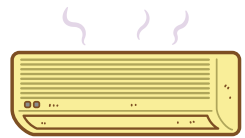


相談事例や
対応ポイント
（さいたま市
ホームページより）



「さいたま市省エネ家電 買換え促進キャンペーン」が 実施されます！

エネルギー価格の高騰に伴う電気料金の負担の軽減及び家庭における温室効果ガス排出量の削減の推進を目的とし、お使いの家電を省エネ家電に買換えた方を対象にキャッシュレスポイント等を還元する事業です。詳細は専用サイトよりご確認ください。



専用サイト



自由民主党 さいたま市議会議員団 広報紙

Saitama City

令和５年度
春季特集号

■発行 自由民主党さいたま市議会議員団 さいたま市浦和区常盤 6-4-4 TEL 048-829-1810・FAX048-833-6665 ■発行責任者 都築 龍太

令和６年能登半島地震に際し 被害にあわれた皆さまにお見舞い申し上げます

この度、令和６年能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表し、御遺族と被災された方々に心からお見舞い申し上げます。また、被災地の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

ごあいさつ

私たち自由民主党さいたま市議会議員団は新人から通算８期目の議員９名が市民のみなさまから寄せられたご意見やご要望を市政に反映すべく、日々、力をあわせて活動しております。

さいたま市は政令市移行２０年を迎え、成熟した都市となりましたが、まだまだ解決すべき課題が山積していることも事実です。出産、子育て、教育、経済、スポーツ・文化の振興、介護、医療、福祉、防災などの様々な分野において市民のみなさまからご意見をいただいております。

自由民主党さいたま市議会議員団は、市民生活の向上と豊かな生活都市の実現に向けて多様な価値観を尊重し、誰もが暮らしやすい、また、子どもたちに将来も住み続けたいと思ってもらえるような魅力や風格のあるまちづくりに向けて取り組んでまいります。



浦和区選出 帆足和之 南区選出 桶本大輔 岩槻区選出 新井森夫 桜区選出 土橋勇司 緑区選出 都築龍太 南区選出 津和野眞佐子 南区選出 萩原章弘 浦和区選出 青羽健仁 北区選出 伊藤仕

団長 都築 龍太

令和6年2月定例会代表質問より

緑区 都築 龍太 議員

さいたまスポーツシュールにおける充実した施設整備を

Ｑ．（仮称）スポーツシュール推進施設の検討体制、導入機能、整備予定地の衛生研究所跡地についての現状を伺う。

Ａ． 検討体制として、昨年４月に浦和レッドダイヤモンズ、（一社）レッズランド、（一社）さいたまスポーツコミッションと本市で整備に係る連携協定を締結した。それぞれの知見等を持寄り、導入機能等を協議する枠組み構築、検討を進め、市民対象スポーツ体験機会の提供や知見やデータに基づいた相談等を想定し、生涯にわたってスポーツを楽しむことを支えるための機能検討を深める。整備予定地については、県と土地取得に向け協議を開始した。今後、整備手法やスケジュールの検討と並行し、取得時期等について合意を図りたい。

Ｑ．取得すると明確に答弁いただいたが、具体的にいつ頃を見込んでいるのか。

Ａ． 調査検討期間を踏まえると、現時点での見込みは令和８年度を目途とし、協議を進めていきたいと考えている。



自由民主党さいたま市議会議員団

※ご意見等はお近くの議員又は関連する委員会若しくは会派役職の議員にお聞かせください。

浦和区選出 青羽 健仁



常任委員会
●総合政策
●予算
特別委員会
●大都市行財政
●議会改革推進

岩槻区選出 新井 森夫



常任委員会
●まちづくり（委員長）
●予算
特別委員会
●地下鉄7号線延伸

北区選出 伊藤 仕



常任委員会
●保健福祉
特別委員会
●大宮駅GGS化構想
●決算

南区選出 桶本 大輔



常任委員会
●市民生活
特別委員会
●議会改革推進（委員長）
●政治倫理

緑区選出 都築 龍太



常任委員会
●まちづくり
特別委員会
●大都市行財政（委員長）
●大宮駅GGS化構想
●決算（副委員長）

南区選出 津和野 眞佐子



常任委員会
●保健福祉
特別委員会
●市庁舎整備検討
●公共交通
●決算

桜区選出 土橋 勇司



常任委員会
●総合政策
特別委員会
●公共交通
議会運営委員会委員長

南区選出 萩原 章弘



常任委員会
●文教 ●予算
特別委員会
●地下鉄7号線延伸
議会広報編集委員会

浦和区選出 帆足 和之



常任委員会
●市民生活
特別委員会
●市庁舎整備検討
議会運営委員会理事



<http://www.jimin-saitamacity.jp/>

私たちの考えは、ホームページをご覧ください。
ご意見等をお待ちしています。

自由民主党さいたま市議会議員団

検索

令和6年2月定例会代表質問より

浦和区 青羽 健仁 議員

災害に強いまちづくりのため、更なる工夫や取組を

Q. 防災都市づくり計画の策定後、リスクの高いエリア解消があまり進んでいないため、取組を充実させる必要がある。財源に限られる中、知恵を絞って都市基盤の改善に繋がる取組を行うべきと考えるが見解を伺う。

A. 議員指摘のとおり、平成27年「防災都市づくり計画」を策定し、延焼、避難困難リスクが高い地区を中心に、住民による主体的な防災まちづくりの取組を支援しているが、未だ解消に至っていない。地域の防災まちづくりに対する意識向上が必要だと考え、避難訓練や出前講座等を積極的にを行い、防災まちづくりを我が事化する取組が必要と考えている。積極的に地域に入り、議員指摘の地区計画や容積率の緩和など、市の制度を紹介したい。防災まちづくりに対する意識啓発について他市の取組等を参考にしながら、関係部局で連携し取り組んでまいりたい。



令和5年9月定例会代表質問より

岩槻区 新井 森夫 議員

障がいのある人も安心できる情報提供の整備を

Q. 公共施設において、意思疎通や情報取得が困難な障がいのある人に対する情報提供のための設備は、災害時ではもとより、平常時でも必要だと考えるが市の整備方針を伺う。

A. 本市ではノーマライゼーション条例に基づき、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取組を推進している。条例では意思疎通や情報取得が困難な障がい者に対し、必要な支援や配慮を行うことと規定しており、条例などの趣旨を踏まえ、本市では、手話通訳者や要約筆記者の派遣など、聴覚障がい者への情報提供の必要性を周知するとともに、災害時や日頃からの防災情報の提供方法も含め、必要な情報が得られる環境整備に努めていきたい。



令和5年6月定例会代表質問より

桜区 土橋 勇司 議員

複雑化する交通環境に対応した整備や修繕を

Q. 今後、電動キックボード等の利用者の増加が見込まれ、人、車、自転車、新たな乗り物が混在し、交通環境がより複雑になると考える。それらを含め、ハード的なメンテナンスや道路を利用する方のマナーの向上も重要な課題になると思うが、市の見解を伺う。

A. ルール・マナーについては交通安全教室の推進や「さいたま 自転車ルールブック」を活用した啓発等を実施している。また、庁内関連部局の他、埼玉県警察とも連携して安全な交通環境の確保に向け取り組んでいきたい。



令和5年12月定例会一般質問より

北区 伊藤 仕 議員

児童の放課後の居場所づくり、体系的・計画的な事業展開を

Q. 放課後子ども居場所事業は、部局横断的な対応が必要だと考える。そのため、行政計画に位置づけ実施していくべきだと考えるが、市の見解を伺う。

A. 本事業は小学校の施設を活用し安心・安全な放課後の居場所を提供することで待機児童の解消、クラブ運営に係る保護者負担の軽減、多様なニーズへの対応といった効果が期待される。令和6年度4校でモデル事業を実施し、検証結果や国の動向などを踏まえ、放課後居場所施策を進めるための基本方針を作成することとし、令和6年度中に素案を示したい。



質疑の様子はさいたま市インターネット中継からもご覧いただけます ▶ <https://saitama-city.stream.jfit.co.jp/>



令和5年12月定例会一般質問より

南区 桶本 大輔 議員

築38年の文化センター、大規模改修による快適な利用を

Q. 老朽化した文化センターの大規模改修の具体的なスケジュールは。空調やトイレなどの建物本体整備だけでなくホール関連設備も併せて更新したほうが効果的、効率的と考えるが市の見解を伺う。

A. 施設、設備の老朽化により利用に課題が生じていることは市として認識している。令和8年度から大規模改修を計画、期間は1年以上と想定される。議員指摘のとおり、ホールの舞台機構や座席等の改修を別途行う場合には、再び休館し利用者に不便をかけることになる。工事を効率的、効果的にを行い、不便を最小限に留めることは非常に重要な観点と認識し、改修工事の設計に当たりしっかりと検討したい。



令和5年12月定例会予算委員会より

南区 萩原 章弘 議員

沼影市民プールの代替地検討について、多角的な視点から検討を

Q. 沼影市民プール近隣の代替適地を探すため、業務委託するとのことだが、従来通りではなく発想の転換や様々な視点から検討することが必要だと考える。再開発地区のみならず荒川の桜草公園の近く等、視野を広げて適地を検討する必要性があるのでは。必死の知恵、アイデアを出し、地域の皆さんによく伺って、いろんな新しい発想も考えていくという視点が必要だと思うが市の見解は。また、代替地検討事業における委託業者の想定は。

A. 委託で検討していく中でも、適地等について情報があれば考えていく。委託業者については、レジャープールも含めて公園施設であるため、公園に関わるコンサルに発注していくことを考えている。



令和5年9月定例会一般質問より

南区 津和野 眞佐子 議員

交通空白地域における積極的なシェア型モビリティ設置を

Q. 南区、JR南浦和駅の東側、産業道路とさいたま川口線の間には、広い範囲で交通空白地域がある。利便性、安全性、SDGsの観点から、シェアサイクルなどを含めた移動手段を交通空白地域内の市有地等へ導入する必要があると考えるが、市の見解は。

A. シェア型マルチモビリティは公共交通を補完する移動手段の一つとして期待しており、市からの支援とセットで交通空白地域等へのエリア拡大を事業者に働きかけてきた。現在、鉄道やバスなどの公共交通との連携の可能性や、ラストワンマイルの移動手段としての効果などを検証している。議員指摘のエリアを含めた交通空白地区等への拡大については検証を踏まえ、公有地の活用も含めて積極的に取組を進めてまいりたい。
▶ 質問後に協議を重ね、大谷口細野公園へ4台、篠堤公園へ3台のシェアサイクルポートが設置されました。



令和5年6月定例会一般質問より

浦和区 帆足 和之 議員

特色あるさいたま市独自の英語教育＜グローバル・スタディ＞について

Q. 報道で市内中学生の英語力が4年連続で全国第1位となり、大きな話題になった。市独自の英語教育を推進した成果と考える。単なる語学学習ではなく、英語を使って自分の考えを伝えることに重点を置いているようだが、具体的な取組は。

A. グローバル・スタディは、小中9年間の一貫した計画で学習を行う市独自の教育。小学校6年間で他自治体の約2倍、中学校3年間で約50時間多く授業を実施。ALTを全校配置し、コミュニケーション力を養う授業をしている。小学校英語劇発表会、中学校英語ディベート大会やスピーチコンテスト、小学生から高校生までの参加によるイングリッシュ・キャンプなど、様々なアウトプットの機会をつくっている。

